

岩手山の火山活動解説資料（令和元年5月）

仙 台 管 区 気 象 台
地域火山監視・警報センター

火山活動に特段の変化はなく、静穏に経過しており、噴火の兆候は認められません。
噴火予報（噴火警戒レベル1、活火山であることに留意）の予報事項に変更はありません。

○ 活動概況

・ 噴気など表面現象の状況（図1～6、図7-①、図8-①）

柏台監視カメラによる観測では、岩手山山頂、大地獄谷及び黒倉山山頂の噴気は認められませんでした。黒倉山監視カメラによる観測では、大地獄谷で弱い噴気が認められました。

27日に岩手県の協力により実施した上空からの観測では、岩手山山頂付近、黒倉山山頂、黒倉山東側崖面、西小沢及び大地獄谷に特段の変化は認められませんでした。

・ 地震や微動の発生状況（図7-②～④、図8-②）

火山性地震は少ない状態で経過しました。

火山性微動は観測されませんでした。

・ 地殻変動の状況（図9、図10、図12）

火山活動によると考えられる変化は認められませんでした。

この火山活動解説資料は、仙台管区気象台のホームページ（<https://www.jma-net.go.jp/sendai/>）や、気象庁ホームページ（https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/monthly_v-act_doc/monthly_vact.php）でも閲覧することができます。次回の火山活動解説資料（令和元年6月分）は令和元年7月8日に発表する予定です。

資料で用いる用語の解説については、「気象庁が噴火警報等で用いる用語集」を御覧ください。

<https://www.data.jma.go.jp/svd/vois/data/tokyo/STOCK/kaisetsu/kazanyougo/mokuji.html>

この資料は気象庁のほか、国土地理院、東北大学及び国立研究開発法人防災科学技術研究所のデータも利用して作成しています。

本資料中の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の「数値地図50mメッシュ（標高）」及び「電子地形図（タイル）」を使用しています（承認番号 平29情使、第798号）。

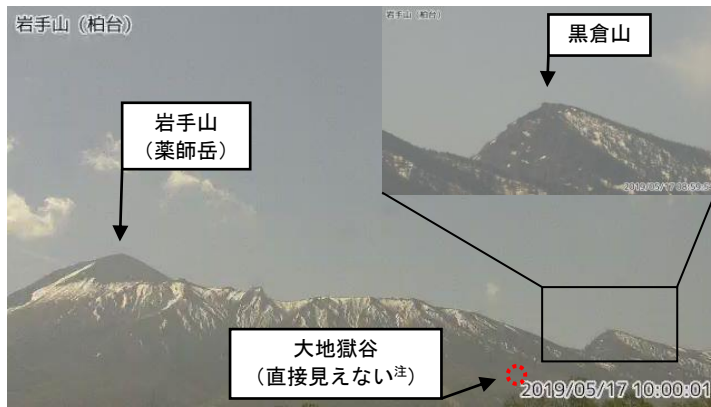


図1 岩手山 黒倉山の噴気の状態
(5月17日)

- ・ 柏台監視カメラ（黒倉山山頂の北約8km）の映像です。

注）大地獄谷からの噴気は、高さ 200m以上のときに柏台監視カメラで観測されます。
赤破線が大地獄谷の位置を示します。



図2 岩手山 黒倉山監視カメラからの状況
(5月12日)

- ・ 黒倉山監視カメラ（大地獄谷の西約 500 m）の映像です。
- ・ 大地獄谷で弱い噴気が認められました。

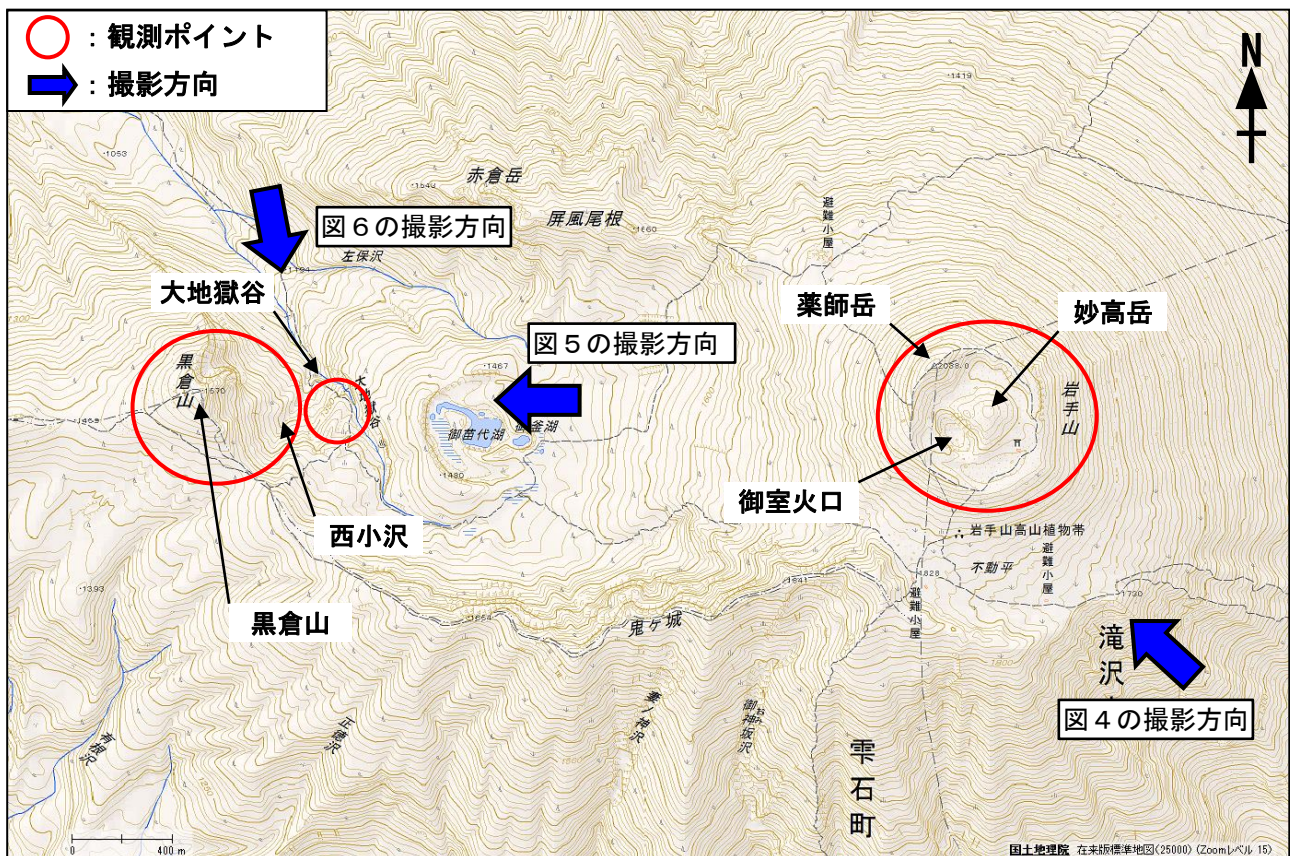


図3 岩手山 上空からの写真の撮影方向

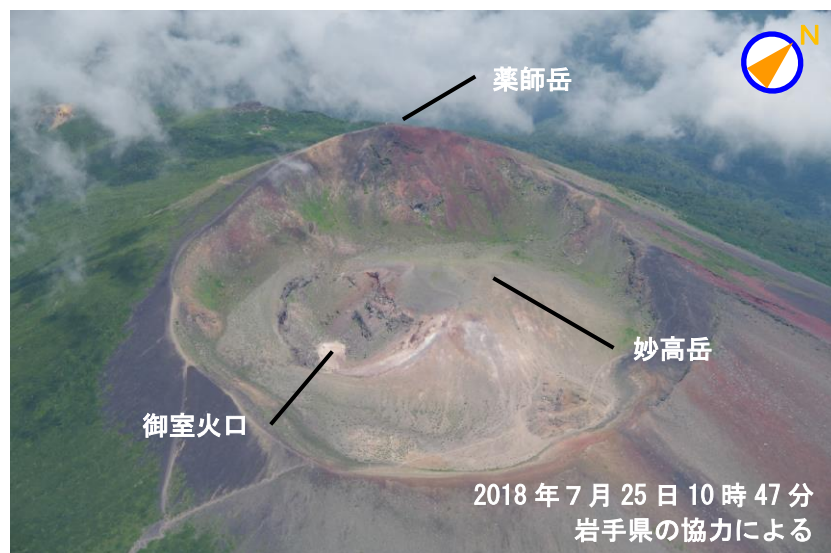
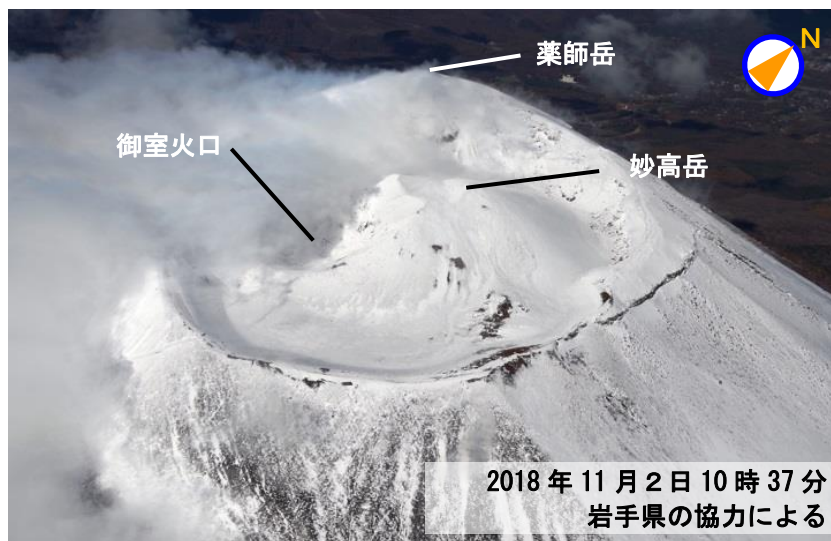


図4 岩手山 上空からの岩手山山頂付近の状況
・噴気は確認されませんでした。

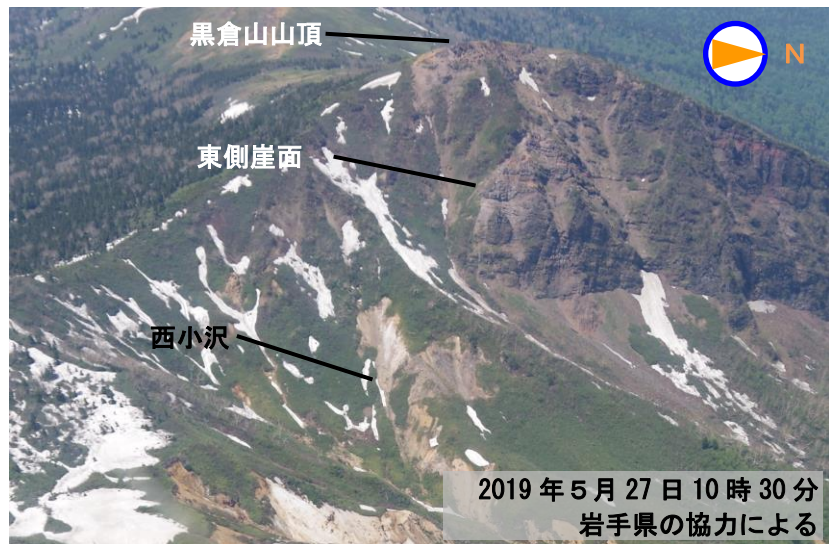


図5 岩手山 上空からの黒倉山山頂、黒倉山東側崖面及び西小沢の状況
・噴気は確認されませんでした。



図6 岩手山 上空からの大地獄谷の状況
・噴気は確認されませんでした。

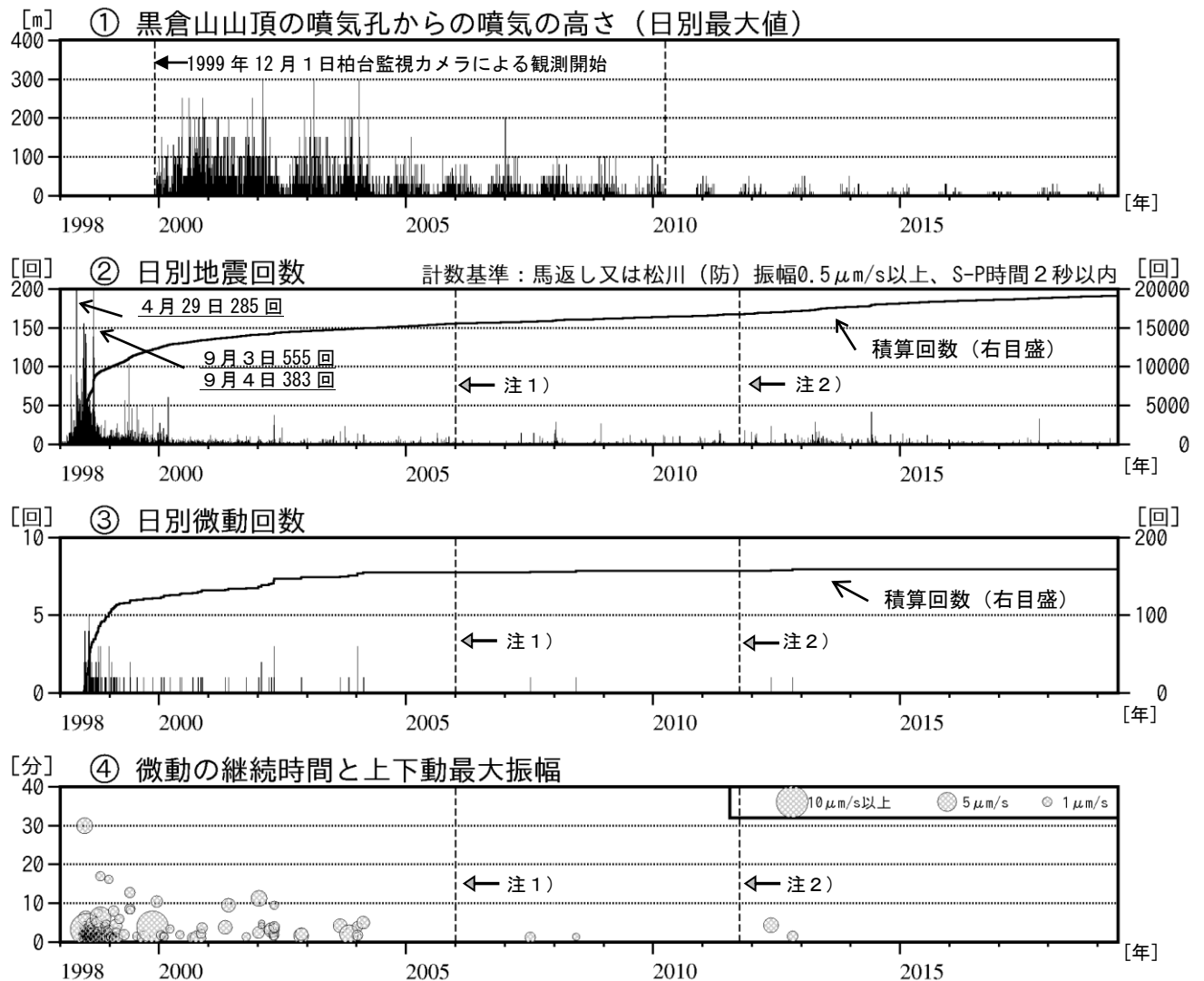


図7 岩手山 火山活動経過図（1998年1月～2019年5月）

- ・①2010年3月までは黒倉山のための観測値を、2010年4月1日以降は岩手山全体の観測値を示しています。
- ・②～④基準観測点の変更は次のとおりです。
観測開始 1998年1月1日～ 東北大学松川観測点
注1) 2006年1月1日～ 焼切沢観測点
注2) 2011年10月1日～ 馬返し観測点及び防災科学技術研究所松川観測点
- ・②2000年1月以降は滝ノ上付近の地震など山体以外の地震を除外した回数です。
(1998年から1999年までは滝ノ上付近の地震など山体以外の地震を含みます)

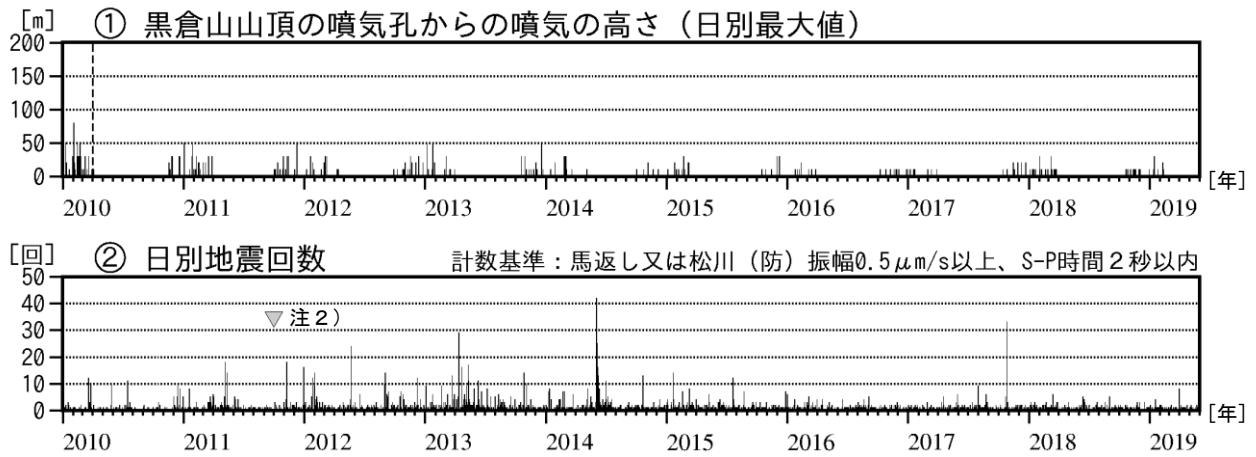


図8 岩手山 噴気の高さ及び日別地震回数（2010年1月～2019年5月）

- ・①2010年3月までは黒倉山のみの観測値を、2010年4月1日以降は岩手山全体の観測値を示しています（黒破線）。
- ・②注2）は図7と同様です。

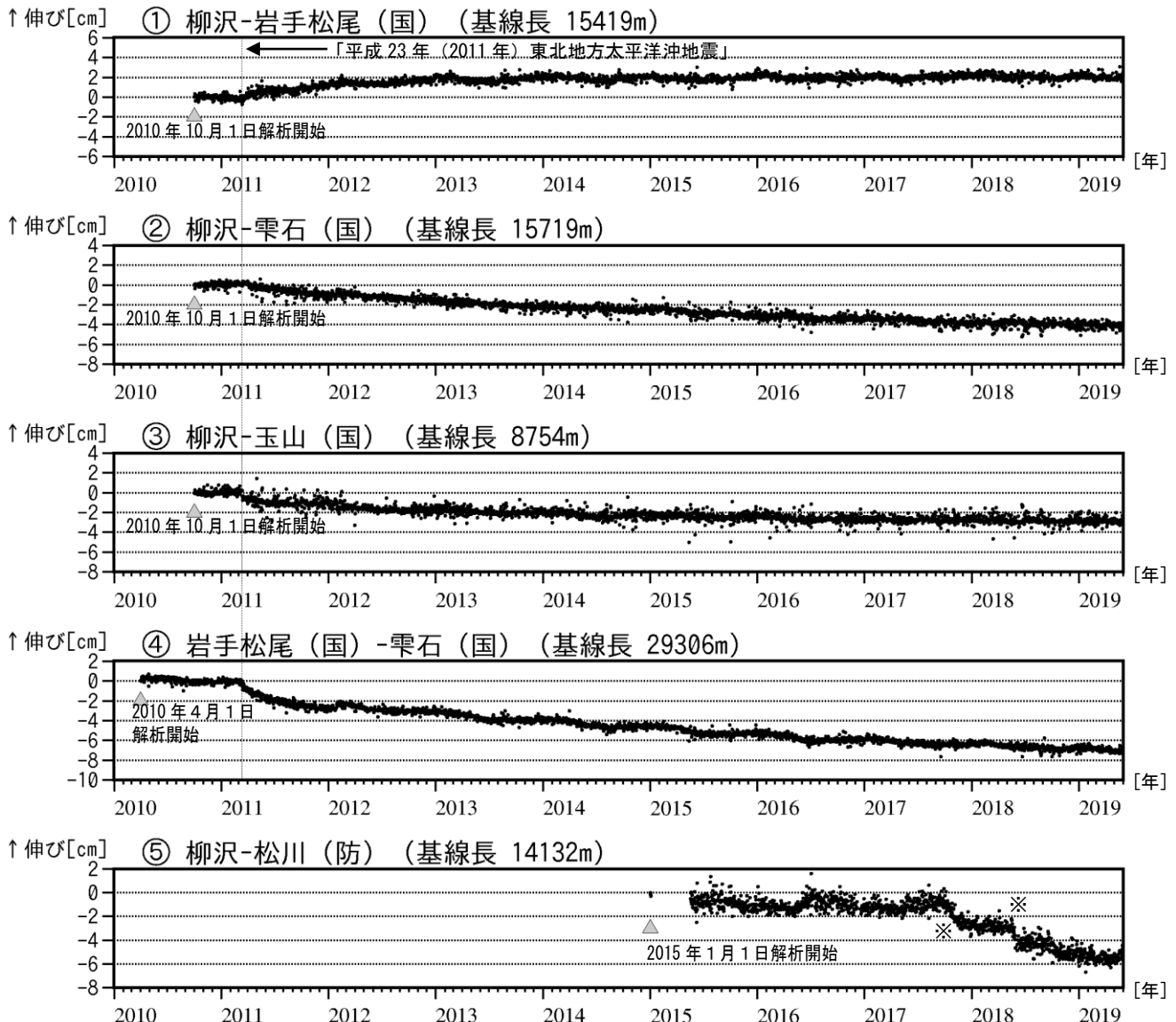


図9 岩手山 GNSS 基線長変化図（2010年4月～2019年5月）

- ・「平成23年（2011年）東北地方太平洋沖地震」に伴うステップを補正しています。
- ・①～⑤は図12のGNSS基線①～⑤に対応しています。
- ・（国）は国土地理院、（防）は防災科学技術研究所の観測点を示します。
- ※松川（防）観測点に起因する変化で、火山活動によるものではないと考えられます。

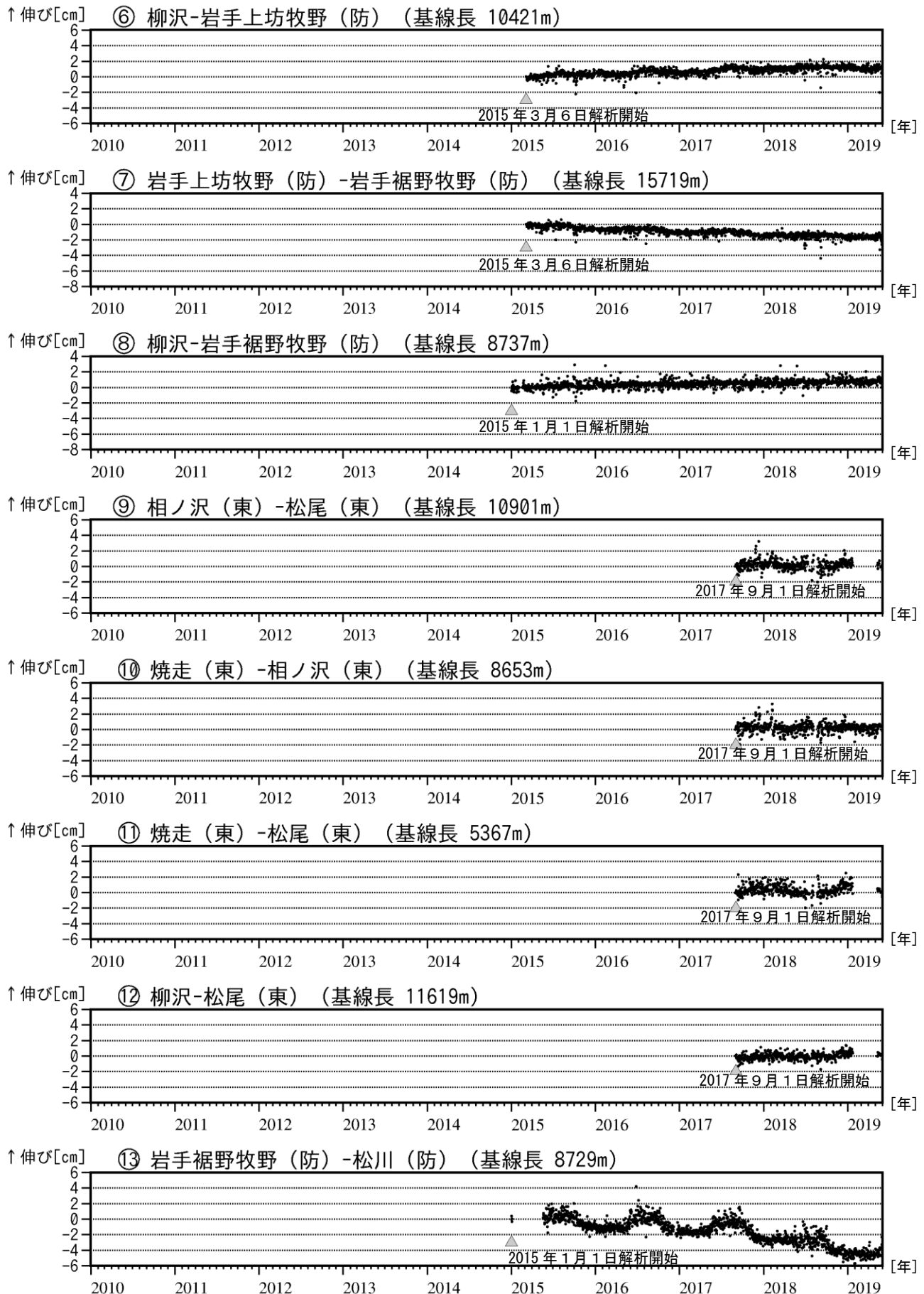


図10 岩手山 GNSS 基線長変化図 (2015年1月～2019年5月)

- ・⑥～⑬は図12のGNSS基線⑥～⑬に対応しています。
- ・グラフの空白部分は欠測を表しています。
- ・(東)は東北大学、(防)は防災科学技術研究所の観測点を示します。

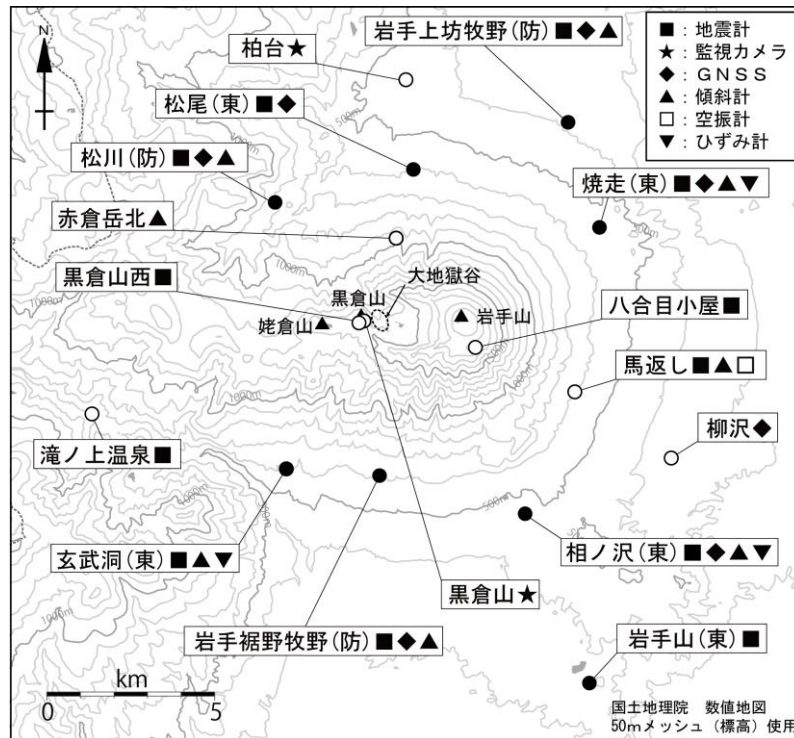


図 11 岩手山 観測点配置図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（東）：東北大学 （防）：防災科学技術研究所

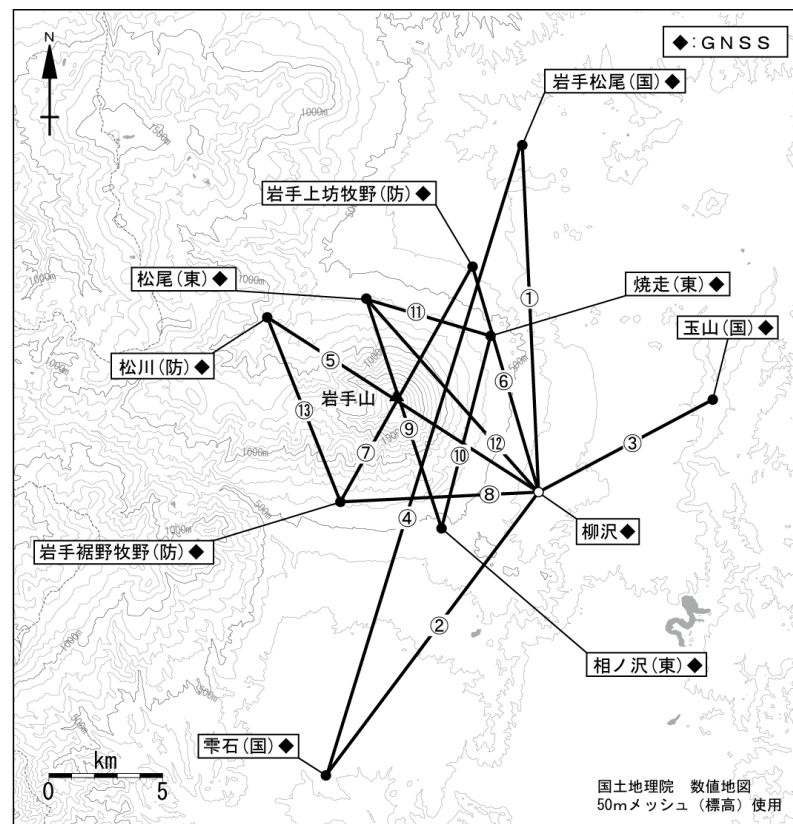


図 12 岩手山 GNSS 観測基線図

小さな白丸（○）は気象庁、小さな黒丸（●）は気象庁以外の機関の観測点位置を示しています。

（国）：国土地理院 （東）：東北大学

（防）：防災科学技術研究所